

# 連合長野【7月】



2012.7.1  
No.339

発行/日本労働組合総連合会  
長野県連合会  
発行人/根橋 美津人

〒380-8545 長野市県町532-3 労働会館3F TEL 026-234-1626 FAX 234-1349  
E-mail info@rengo-nagano.jp http://www.rengo-nagano.jp/

「東日本大震災・長野県北部地震」被災1年に関わる取り組み  
連合長野第8回執行委員会を宮城・仙台市で開催

## 連合宮城

### この1年の復興に向けた懸命の取り組みの報告 「住まいの再建」「仕事の再建」など課題は山積!

連合長野は、6月15～16日にかけて仙台市で、「東日本大震災・長野県北部地震」被災1年に関わる取り組みとし、役員自らが被災地の現状を知り、これからの支援のあり方と共感を拡げることを目的に、「第8回執行委員会・被災地視察」を宮城県で開催した。



御礼のあいさつする連合宮城・山崎会長



報告する連合宮城・富田副事務局長



復興に向けて活発に意見交換する模様

初日は朝6時、連合長野をバスで一路仙台市を目指して出発した。

第8回執行委員会終了後、連合宮城の富田副事務局長から、「東日本大震災からの復興に向けた連合宮城の活動」について報告があり、山崎会長ほか5名の役員の方々に出席いただいた。その後は懇談会を実施し、予定時間をオーバーするほど質問等が出された。仙台市では復興特需で繁華街などは賑わいを見せているとの報道等があるが、壊滅的な被害を受けた石巻市などではがれきの処理なども進まず、復興の動きは鈍いとのことであった。

## 2日目は宮城県石巻市、仙台市若林区などの被災地視察 まだまだ復興途中の被災地の現状を知る!

石巻市内を一望できる日和山公園からは、全校児童108人の7割に当たる74人が死亡・行方不明となった「大川小学校」と、旧北上川の中洲にあって地盤沈下の影響で満潮時には海水が押し寄せてくる石ノ森漫画館を望むことができた。その後は仙台市に戻り、多くの方の遺体が打ち上げられた若林区、そして自衛隊映像がテレビ報道され皆が釘付けとなった名取市を視察し、最後に閉上(ゆりあげ)地区の慰霊碑に献花を行った。

今回の視察を通じて、参加者それぞれが被災地への思いを新たにしました。今後も引き続き、ボランティア活動等を通じて被災地の気持ちに寄り添った息の長い取り組み・支援を実施し、また「ガレキの受け入れ」などの問題についても連合長野として積極的に発信していくこととしたい。

石巻市・日和山公園から見た石ノ森漫画館



(震災前)



(震災後)

石巻市・日和山公園から見た大川小学校



(震災前)



(震災後)



代表して慰霊碑に献花する会長・副会長



津波で襲われた後、火災で全焼した門脇小学校

# 復興支援・住宅版エコポイント

## エコリフォームは今がチャンス!

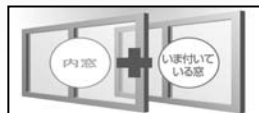
### 後付樹脂サッシを特別価格で提供

労働組合特別価格

定価の

# 35%OFF

※取付費は別途かかります。



2012年10月31日まで

※詳しい内容につきましてはご連絡下さい。



長野県労働者住宅生活協同組合 ☎ 026-234-0283  
〒380-0838 長野市別所523番地 ちゅうもとビル7F  
Fax 026-234-0271



## 連合長野2012環境見学会開催 県下各地から43名が参加!

自動車総連・盟和産業労働組合 島岡洋幸

昨年の震災以降、様々なエネルギーに関する議論がされる中、6月4日に連合長野主催の環境見学会に参加しました。北アルプスの素晴らしい眺望の大都市で、小水力発電の普及に取り組む「NPO地域づくり工房」が設置するミニ発電所と大町市営町川発電所の見学を行いました。

大町市営町川発電所は農業用水の落差を利用した発電で、ある程度の流量と落差のあるところであれば設置できそうな設備でした。

NPO顧問の川上さん宅では、自宅の前の用水路に設置したらせん水車による発電と自作の変電&蓄電設備があり自宅の電気の約4割を水力でまかっています。川上さんの工房には試作の雨どい用のらせん水車もあったりと町の発明家といった感じでした。

駒沢ミニ水力発電所では、用水路の落差を利用したベトナム製の30万円程の設備による発電で、野猿用電気柵や電気自動車の充電を行っています。落葉などの流入物の処理が難点で恒常的な利用は出ていないとのことでした。

ミニ水力発電所でも、ある程度の知識、または管理者がいないと維持管理が難しいのではとの感じを受けました。

小水力発電の導入には法律の壁が高く、いずれも水利権(河川法)上、個人の便宜に供する発電は認められず、環境学習用として(国の)許可であり、毎年許可の届出をしているとのことでした。経済産業省・資源エネルギー庁・農水省・県と多岐に渡る申請と地元の同意が無ければ成り立たないとのこと、法律上の緩和策の必要性を感じました。

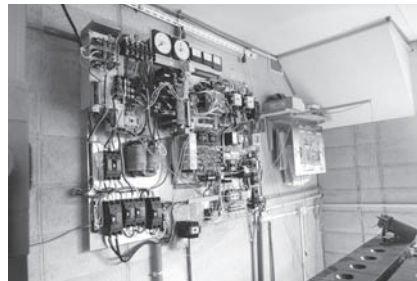
売電するためには約6千万円の逆流防止装置が必要で、小水力発電は売電ではなく自家消費を目的とするため電気の用途を考える必要があるとのこと、今後は熱利用(水を温める)を進めたいとのことでした。

長野県は水が豊富で、その資源を生かした再生可能エネルギーの活用ができればいいですね。

連合長野・国民運動環境委員会は、6月4日(月)に大町市で、持続可能な地域づくりをめざし、様々なエコプロジェクト等に取り組んで活動している、「NPO地域づくり工房」のエコツアーに参加した。



駒沢ミニ水力発電所・左側に水路と発電施設



川上ミニ水力発電所・自作の配電盤とバッテリー

電機連合・信越富士通労働組合 小林 元太郎

今回初めて環境見学会に参加し、「NPO地域づくり工房」の皆さんの活動に感心させられました。

「行政まかせではなく、自分たちの力で」「見捨てられていたものを新しい地域づくりの資源に」を基本に取り組みされた「くるくるエコプロジェクト」と「菜の花プロジェクト」を目の当たりにして、環境にやさしいミニ水力発電は造られた方の創意工夫を窺う事ができました。また日常の電力管理もキチンとなされているのに驚くと同時に、菜の花畑などと併せ観光の目玉としての活用は地域に対しても貢献度大であり、私自身、日常見過ごしてしまっている事を見直し、何かしら環境に配慮した提案ができ地域貢献に繋がる事ができればという事を痛感した見学会でした。

はたらくみんなにやさしいろうきん

「ピンクリボン運動」とは…  
乳がんの正しい知識を広め早期発見・早期治療の大切さを訴える世界的な運動です。

はたらくみんなにやさしいろうきん

ハートフル・キャッシュポイント・プロジェクト

**長野ろうきんはピンクリボン運動を応援しています。**

長野ろうきんのカード(ローンカードを含む)を  
長野ろうきんATM、セブン銀行ATMでご利用いただく、  
お引出し・お預入れ1回につき **1**円を長野ろうきんが負担し、  
公益財団法人日本対がん協会「乳がんをなくす ほほえみ基金」  
に寄付いたします。

ハートフルキャッシュポイントプロジェクト

長野ろうきんのカード(ローンカードを含む)を  
長野ろうきんATM、セブン銀行ATMでご利用いただく

**お引出し・お預入れ1回につき1円を長野ろうきんが負担**

公益財団法人日本対がん協会に寄付

インターネットでも  
(長野ろうきん)の情報が  
ご覧いただけます。

<http://www.nagano-rokin.co.jp/> **長野ろうきん** 検索

ケータイでも  
CHECKできます!

## ～モンゴルの大地に信州の森をつくろう～ 第23次『モンゴル国・植林交流団』に22人が参加

5月23日から28日の6日間、長野県モンゴル親善協会の企画による、『モンゴル国・植林交流』が実施され、ウランバートル郊外で植林・交流と、「ゲル」(移動式住居)に宿泊するなど、遊牧文化の息吹を体験。

第23次「モンゴル国植林交流団」に参加して

情報労連長野県協議会 北村 正一

ある日議長から、「北村さん、モンゴルへ植林しに行くかい」と話しかけられ、その時は「ん～」と生返事をして誤魔化したが、数日後、「北村さんが行くんなら俺も行くで」と最終通告があり、それなら人間一回り大きくなって帰って来ると決断した。注)大きくなるのは既にメタボと化した体形のことではありません。

そんなこんなでモンゴルへと出発したのだが、飛行機から眺める景色は樹木の生えていない丘陵だけ。それはウランバートルに着いても何も変わらず、空港から市街地への舗装道はデコボコだらけ。近郊にもかかわらず道路脇に遊牧民の家であるゲルがあり、さらに市街地に入ると帰宅時間帯の大渋滞、やっとのことでホテル到着。

ただし、モンゴルの5月の気候は最適であった。昼は20度を超えるが湿度が低いので汗をかかず、夜



植林に汗を流す、記事提供の北村さん(写真左)



ウランバートル市内・新モンゴル高校にて

は涼しく毛布一枚で快眠。この時期日本で汗だくで暮らしていることを思うと、やはり自分の祖先はモンゴリアなんだと妙に納得。

滞在期間中にモンゴルの悠久な自然・文化に触れ、また植林を通じて地元高校生達との交流も行った。若者達は多くが将来国外の大学に留学することを目指しており、この若者達が発展途上中のこの国の将来を担うのだと感嘆した。

最後に、この体験の機会を提供していただいた長野県モンゴル親善協会の皆様に感謝、幹事として大変ご苦勞をいただいたろうきんの小林さん・連合長野の戸井田さんに感謝、楽しい時を共に過ごした団員の皆様に感謝、最後に滞在中僕等の安全を確保してくれた添乗員と運転手の3人に感謝しとりとめない文章の最後とする。皆さん、ありがとう。



ZENROSAI NEWS

50周年  
全労済 長野県本部

僕は、  
こくみん共済。

安心して生きていく。自分も、家族も。

## こくみん共済

個人定期生命共済・こくみん共済貯蓄・個人定期生命共済・個人定期生命共済・個人定期生命共済・個人定期生命共済

2012年は  
国際労働連帯年

協会の  
活動は、  
経済活動  
の発展に  
貢献して  
います。

協会の  
活動は、  
経済活動  
の発展に  
貢献して  
います。

協会の  
活動は、  
経済活動  
の発展に  
貢献して  
います。

協会の  
活動は、  
経済活動  
の発展に  
貢献して  
います。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」等を必ずご確認ください。

保障のことなら

## 全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会